

第 21 次大阪府（市・町・村）民の交通環境を良くする行動実行委員会、
日本労働組合総連合会大阪府連合会との協議等議事録（要旨）

市民局ダイバーシティ推進室雇用女性活躍推進課

- 1 日 時 令和 7 年 1 月 15 日（水） 10 時 00 分～12 時 00 分
- 2 場 所 市役所本庁舎 地下 1 階 第 1 共通会議室
- 3 団 体 名 第 21 次大阪府（市・町・村）民の交通環境を良くする行動実行委員会、
日本労働組合総連合会大阪府連合会
- 4 協議等の趣旨 第 21 次大阪府（市・町・村）民の交通環境を良くする行動申し入れ

5 出席者

（団体側）

代表者（議長）他 計 12 名

（本 市）

計画調整局	5 名	都市交通局	2 名	建設局	4 名	
経済戦略局	1 名	大阪港湾局	1 名	福祉局	2 名	
契約管財局	1 名	万博推進局	1 名	環境局	2 名	市民局 2 名
						計 21 名

6 議 事

（1）地域公共交通計画の策定について【統一要求項目 1（1）】

団体要望概要

- ・なにわ筋線と北港テクノポート線以外に新たに検討されている路線はないのか。

本市説明概要

- ・ J R 桜島線延伸（桜島～夢洲）及び京阪中之島線延伸（中之島～九条）について、過去の答申路線である北港テクノポート線（夢洲～新桜島）と京阪中之島新線延伸（中之島～西九条～新桜島）との B/C など優位性を比較するため、検討会を設置し検討を進めている。

（2）事故統計資料の活用について【統一要求項目 2（1）】

団体要望概要

- ・ 事故統計資料に基づいて、具体的な施策を行っているのか。
- ・ 交通事故の原因に対して、物理的な対策を行っているのか。

本市説明概要

- ・ 事故統計資料は、ホームページでの公表だけでなく各行政区にも情報共有し、各区が広報啓発や交通安全教育を行う際の参考としてもらっている。
- ・ 市民局は、広報啓発を行うところであり、道路形状の改良などの物理的な対策は行っていない。ただ、死亡事故が起きた現場等については、建設局や警察等が、一緒に

現場点検を行っていると聞いている。

(3) バス優先レーン・専用レーンについて【統一要求項目 2 (3)】

団体要望概要

- ・前回（令和 4 年度）から状況に変化はあったのか。

本市説明概要

- ・必要に応じて関係者と協議する方針だが、協議の申し入れはなく状況に変わりはない。

(4) 主要な商業・業務集積地域における専用のパーキングエリア、荷捌場などのさらなる整備・促進について【統一要求項目 2 (4)】

団体要望概要

- ・どこでどんな荷さばき場の整備促進を図っているのか。
- ・道路上で荷捌場を整備できないか。

本市説明概要

- ・道路外で適切に駐車施設が確保されるよう、条例に基づき、駐車需要を発生させる建物側に対して必要台数の設置を義務付けている。荷さばき施設を設置すると、その台数を 2 倍に換算して必要台数に算入できることを当該条例で規定しており、過去 5 年間の当該条例に係る協議件数四百数十件のうち、10 分の 1 ほどがこの規定に則り荷さばき施設を設置している。
- ・当方は建築物を建築する際に駐車需要が発生する建物に道路外で駐車施設の設置を義務付けているものであり、道路上の範囲は担当外である。

(5) 交差点等における交通事故対策について【統一要求項目 2 (5)】

団体要望概要

- ・車両用防護柵を設置できない交差点の交通安全対策はどうなっているのか。
- ・対策を実施する交差点の重要度の設定はしているのか。
- ・交通事故に対する取り組みは行っているのか。

本市説明概要

- ・埋設物等の関係で車両用防護柵を設置できない交差点については、交通管理者とも調整し、対応可能な対策を実施している。
- ・事故の発生状況等を加味しつつ、交通管理者と調整しながら対応可能な対策を実施している。
- ・交通管理者から交通事故の発生原因の情報を得ながら対策の検討を行い、安全性の向上が見込まれる箇所等については、道路の改良等を行っている。

(6) 自転車ヘルメットの着用促進施策について【統一要求項目 2 (6)】

団体要望概要

- ・自転車ヘルメットの着用率が非常に低い。着用率を上げるために、自治体によっては、助成措置を行っているところもある。大阪市としては、助成措置をしているのか、ど

のような取組行っているのか

本市説明概要

- ・補助金制度については、他都市の状況を見ながら慎重に検討していくべきであり、助成をしたからすぐにヘルメットの着用率が上がるわけではない。ヘルメットを着用しなければ死亡事故につながるおそれもあることから、広報啓発を重点的に行っている。例えば、大阪府警が作成した、自転車事故の被害者遺族の声を集めた動画を各区に共有し、交通安全教育や広報啓発で活用してもらっている。また、各区においても、区民が集まる場にヘルメットの実物を持参し、交通安全教室や広報啓発を行ってくれている。

(7) 交通需要マネジメント（TDM）施策について【統一要求項目 4（1）】

団体要望概要

- ・広域的な交通施策について取り組むとの回答であるが、具体的には何か。
- ・TDMによる時差出勤・テレワークの呼びかけをされているということであるが、中央線沿線の事業者は、現在どれくらい参画していて、それによってどれくらい混雑率を減らす見込みとなっているか教えてほしい。
- ・万博来場者は多い時で1日22万人と聞いており、4～6月に集中するのではないかと考えている。その時にバスでの来場者が渋滞に巻き込まれることを心配しているが大丈夫か。
- ・交通円滑化推進会議にハイヤータクシー団体が入っていない。回答は不要だがメンバー選出の仕方が気になった。（要望のみ）

本市説明概要

- ・関西国際空港や、新幹線新大阪駅へのアクセスを改善する「なにわ筋線」の整備を進めている。
- ・TDMパートナー登録企業の募集を行っており、現時点で約1,600事業所に登録いただいている。中央線沿線の企業登録者数の詳細は把握できていない。中央線沿線事業者の協力は特に必要であるため、以前にも実施したが、再度ポストインおよび説明会の開催を予定している。
- ・万博は184日間と期間が長いが、TDMの取組みにご協力いただきたいのは、博覧会協会が混雑時期として予測している6月と8月のお盆明けから会期末までの期間を考えている。渋滞対策について、舞洲や夢洲で立体交差化や阪神高速道路の出口部分をボトルネック対策として1車線を2車線にする等の対策を行っている。・また、博覧会協会でも舞洲駐車場の入庫時間を予約とすることで混雑緩和対策を行っている。・それでも10月は、阪神高速道路東大阪線で渋滞長が2km延伸する予測をしているため、TDMで少しでも混雑緩和を図ることができるよう取り組んでいる。

(8) 「ノーマイカーデー」等の施策について【統一要求項目 4（3）】

団体要望概要

- ・公共交通機関への利用転換を促進しているとのことであるが、具体的な成果はある

か。

本市説明概要

- ・令和3年のパーソントリップ調査によると、過去の調査結果と比較したところ、大阪市内の代表交通手段として自動車を利用する割合が減少する一方、鉄道を利用する割合が増えている。

(9) 関西 MaaS 推進連絡会議の取組みについて【都市交通関係要求項目5】

団体要望概要

- ・AI や MaaS を活用した誰もが利用しやすい今後の公共交通の実現に向けて、訪日外国人への対応を含めて、市としてどのように進めていくのか。

本市説明概要

- ・本市は関西 MaaS 推進連絡会議に参画しており、関西 MaaS 協議会がリリースした KANSAI MaaS を通して、市内外の利用者が様々な交通機関をシームレスに利用し、かつ高質なモビリティサービスを受けられるよう関係者と連携して取り組んでまいる。また、訪日外国人も便利に利用できるよう KANSAI MaaS では英語版の web サイトも用意されている。

(10) バス運転士の要員確保について【バス関係要求項目4】

団体要望概要

- ・バス運転士の要員不足の原因は、賃金の低さや労働条件の悪さ。改善のための原資となる運賃値上げを実施することで運転士を増やすことができるのではと考える。大阪シティバス株式会社（以下、OCB という。）以外のバス事業者は運賃値上げを実施している中、OCB は交通局民営化時の取り決めにより運賃値上げができないと聞くがどうか。
- ・運賃値上げができないのであれば補助金がほしい。運賃値上げをするか、補助金を出すか検討してほしい。バス運転士は複数の事業者で取り合いになるので、市としても要員不足の原因を理解し、要員確保に協力をお願いしたい（要望のみ）

本市説明概要

- ・交通局民営化による事業引継ぎ時の基本方針として、「路線、運行回数、運賃などは原則として少なくとも10年は引継ぎ時の水準を維持する」といったことを議決している。現在のところ、OCB から運賃値上げに関する申し入れはない。

(11) 夢洲地区における海上コンテナ車両の渋滞緩和について【トラック関係要求項目5】

団体要望概要

- ・万博関連の工事車両でコンテナ車両が滞留していると聞いている。
- ・万博開催期間中に貨物を夢洲（大阪港）以外へ移すことも考えているのか。そうであれば万博終了後、貨物が夢洲（大阪港）へ戻ってこなくなることを懸念している。

本市説明概要

- ・日々、夢洲における海上コンテナ車両の交通状況をモニタリングしているが、工事車

両の影響で滞留が発生している状況は殆ど見受けられない。

- ・万博開催期間中の交通シミュレーションでボトルネックとなる主要交差点にて交通容量を検討しており、日々の変動もあるので全く混雑しないとは言い切れないが、検討結果では交通容量を超過していない状況。大阪港から貨物が他港へシフトしないよう取り組んでいる。

(12) タクシー運賃補助制度について【ハイヤー・タクシー関係要求項目1】

団体要望概要

- ・高齢運転者の運転操作ミスによる交通事故が多く発生し、社会問題となっている。
なかには生活のために運転免許証を手放せない人もいるのが実情。このような人たちが、免許証を手放しても安心して暮らせるよう、運転免許証の自主返納者や自家用車を持たない高齢者、いわゆる移動困難者に対する救済は、行政の役割だと感じている。
自家用車に頼らなくても安心して生活できるよう、タクシーの乗車運賃の補助制度について再考してもらいたい。(要望のみ)

(13) 日本版ライドシェアについて

【ハイヤー・タクシー関係要求項目4】【バス関係要求項目6】

団体要望概要

- ・日本版ライドシェアについては、タクシーが不足している時間を国が指定して、運行が認められており、今回の府域全域・24時間運行が可能となったことは、昨年8月の国土交通省事務通知にある「イベント開催時における自家用車活用事業の使用可能時間帯等について」を活用したものと思われる。関西国際空港が24時間稼働しているとはいえ、タクシーがある中、日本版ライドシェアを24時間運行させる必要があるとは思えないが、自治体として24時間運行が必要だと国へ要請した数字的根拠を教えてもらいたい。

本市説明概要

- ・今回のイベント開催時における自家用車活用事業の使用可能時間帯等に係る国への要請手続きについては、大阪府が行っており、本市から数字的根拠の説明は差し控えさせていただく。

(14) 自家用ライドシェアの考え方について【ハイヤー・タクシー関係要求項目4】

団体要望概要

- ・ライドシェアの車両は万博会場へどのようにアクセスするのか。何か対策はあるのか。
- ・ライドシェア車両と一般車両が外観ですぐに見分けが付くよう対策要望があったことを協会に伝えてほしい。(要望のみ)

本市説明概要

- ・万博期間中の運用については、タクシー運用ルール検討会で定めており、受講済証を車両のダッシュボードに掲示し、乗降場のあるターミナル入口で警備員が受講済証を確認することになっている。